



あか さき め 赤はなぜまっ先に目につくの

あか みえる もの あか いろ ひかり はんしゃ 赤く見える物は、赤い色の光を反射している

にっこう は しろ ひかり み いろ ひかり ま
日光は、白っぽい光に見えますが、いろいろな色の光が、混ざりあったものです。日光
がプリズムを通ると、赤・だいたい・黄・緑・青・あい・むらさきの、7色の光に分かれ
ます。また、けい光灯の光も、いろいろな色の光が、混ざりあったものです。

もの あか み にっこう けい光灯 などの ひかり 物にあたっているときに、赤い色の光
だけを反射して、ほかの色の光を、吸収しているからです。

あか いろ ひかり はちよう なが 赤い色の光は波長が長い

ひかり なか あか き め み ひかり かしこうせん
光の中で、赤・だいたい・黄などの、目に見える光を可視光線といいます。そのほかに
せきがいせん しがいせん
赤外線や紫外線とよばれる、目に見えない光もあります。

ひかり なみ すす はちよう なみ やま つぎ やま たに たに なが はちよう
光は波として、進んでいきます。波の山から次の山まで、または、谷から谷の長さを、波長
といいます。光の色によって、波長の長さがちがいます。

いろ ひかり なか はちよう なが あか き みどり
7色の光の中で、波長がいちばん長いのは赤です。だいたい・黄・緑、となるにしたが
って、波長がだんだん、短くなっていきます。

はちよう なが ひかり め あか いろ ひかり なか はちよう なが
波長の長い光ほど、目につきます。赤は、7色の光の中で、波長がいちばん長いので、
まっ先に目につくことになります。それは、波長が長いために、空気中のちりなどで散乱さ
れにくく、物で吸収される割合が少ないからです。

せきがいせん しがいせん め み せきがいせん あか はちよう なが ひかり しがいせん
赤外線や紫外線は、目に見えませんが、赤外線は、赤よりも波長の長い光、紫外線は、
むらさきよりも、波長が短い光です。（監修・青木 国夫）

